

# 新たな決意

今、ふじみ野市は確実に変わりつつあります。

就任当時は、財政状況も決して良い状況ではありませんでした。

財政指標の一つとして、そのまちの財政運営の自由度、

弾力性を示す経常収支比率は

県内の市の中ではワースト1でした。

徹底したコスト意識のもとでの財政運営。

そして、攻めの行政運営により財政は

着実に好転に向かい、経常収支比率は県内平均を

上回る改善を図ることができました。

しかし、まだまだやらなければならない課題は

山積しています。

今、改革のスピードを緩めるわけにはいきません。

立ち止まってなどられません。

ふじみ野市の未来に向かって前進あるのみです。

「前へ、さらに前へ」とこれからも

ふじみ野市の発展に向けて全力で

市政改革に取り組んでいきます。

高畑ひろし

# 前へ、さらに前へ



## 高畑ひろし市長を応援します



埼玉県知事  
上田 清司

高畑市長の市政運営は本物です。ダイナミックな行動力と、柔軟な発想、そして何よりスピード感は県内でもトップクラスです。子ども優先の政策により着実にふじみ野市の人口は増えています。高畑市長には引き続き、ふじみ野市の発展に全力で取り組んでいただきたい、それが埼玉県の発展にもつながるものと確信しています。高畑市長の実行力に期待しています。



富士見市長  
星野 信吾

高畑市長は、その誠実な人柄でタウンミーティングを通じ、市民との対話を大切にしてくださいました。ふじみ野市はこの4年間で大きく変わり始めています。若さと行動力のある高畑さんを心から応援しています。



三芳町長  
林 伊佐雄

高畑市長は、2市1町の懸案だった消防本部庁舎の建設にもリーダーシップを発揮されました。ふじみ野市のみならず2市1町を、埼玉県のリーディング地区として誇りある街、住みたい街にしたいためにも、高畑市長を全力で応援します。



和光市長  
松本 武洋

高畑市長は、悪かった財政状況も劇的に改善させるなど、厳しい行革を市民への説明責任を果たしつつ実行された手腕には感服させられます。「あったかい」と「効率的・効果的」を両立させる高畑市政から目が離せません。



所沢市長  
藤本 正人

高畑市長のバイタリティーには、いつも敬服しています。少子高齢化社会が続く今日、「アレモコレモ」と何でもやれる時代は終わりました。20年、30年先の未来を見つめ、今を行動していく52歳、責任世代の高畑さんを心から応援します。



志木市長  
香川 武文

高畑市長は、常に一步前を歩き、進むべき方向を照らし続けてくれる頼もしい先輩です。日本一のまちを目指す好敵手として、市政運営に対する熱い想いを共有し合う同志として、高畑市長の「日本一のまちづくり」へのチャレンジを応援します。



衆議院議員  
柴山 昌彦



衆議院議員  
神山 佐市



参議院議員  
西田 実仁



衆議院議員  
小宮山 泰子



参議院議員  
行田 邦子

### 埼玉県議会議員

### ふじみ野市議会議員



土屋 恵一



加藤 未勝



小高 時男



福村 光泰



山田 敏夫



仙田 定



大築 守



有山 茂



鈴木啓太郎



西 和彦



島田 典朗



岸川 彌生



堀口 修一



伊藤美枝子



田村 法子



五十嵐正明



民部 佳代



小林 憲人

## あったかい ふじみ野 実現へ！

10万9千人の市民が一つの家族のようなまちにしたい。

もっともっと家族を増やしたい。

そして、何より大切なことは、

子どもたちの笑顔を増やすことです。

そんな、「あったかい ふじみ野市」の実現に向け、引き続き全力で突き進みます。



### 高畑ひろし プロフィール

■昭和36年6月生まれ ■上福岡市立第2小学校、第2中学校を経て川越商業高等学校(現・市立川越高等学校)卒業、家業の(有)増田屋へ  
■平成15年・42歳で上福岡市議トップ当選。平成19年・ふじみ野市議(副議長歴任)。平成21年・ふじみ野市長当選 ■その他 / 上福岡市商工会青年部長・理事、上福岡市消防団副団長、上福岡市立第2(現・葦原)中学校PTA会長 ■好きな音楽 / サザン、クラシック音楽  
■尊敬する人 / 坂本龍馬 ■家族 / 両親、妻、1男1女

## 高畑ひろし後援会

特別号  
市政報告

〒356-0004 ふじみ野市上福岡1-8-12  
TEL: 265-3610 FAX: 265-3595  
E-mail h-takahata@be.wakwak.com



本人  
ブログに  
アクセス



詳しくはホームページをご覧ください。

高畑ひろし

検索

URL <http://h-takahata.jp/>



討議資料

ふじみ野市長

# 高畑ひろし

たか は た

# 市政改革 実行中





# ふじみ野市未来創造プラン

～高畑ひろしのまちづくり構想～

## 子ども優先の政策を展開します

なぜ、子ども優先の政策が必要なのでしょう。

それは、子育て世代、いわゆる現役世代に、このまちに住み続けてもらいたい、このまちに移り住んでもらいたいからです。

少子高齢化が進み、さらに人口が減っていくまちをいったい誰が、支えていくのでしょうか。このまちを支えてくれる現役世代の力が絶対に必要なのです。そのために私はこれまで次のような子ども優先の施策に取り組んできました。

- 子ども医療費無料化や保育所の待機児童対策
- 西児童センターの新設や教育環境の改善 … などなど

その効果

## 子育て(現役)世代の転入者が急増

人口減少の時代に、このふじみ野市は人口が増加

平成22年4月(3年前) 106,585人  
平成25年4月(今年) 109,112人

東洋経済新報社

住みよさランキング調査 県内1位

大手不動産販売会社アンケート調査 ふじみ野エリア  
住んでみたい街(駅)ランキング 県内4位

その結果

## 財政基盤の強化が持続可能なまちづくりへ

- 生産年齢人口の増加が、市の財政基盤をより強固なものに
- 医療費など、社会保障費の増加にも対応可能な財政運営

目指すは

実現するための

### 魅力と活気に満ちあふれ、子どもからお年寄りまでだれもが安心して住み続けられるまち

これからの4年間の取り組み

子ども

## 子ども優先のまちづくり

将来を担う子どもたちのために、教育環境と子育て環境の充実を図ります！



健やか

## 誰もが健やかに暮らせるまちづくり

障がいのあるなしや年齢にかかわらず、子どもからお年寄りまで誰もが、健康で元気に暮らせるまちを実現します！

安心

## 安全・安心のまちづくり

防災性や防犯性の高いまちづくりを進めるとともに、地球環境への安心感を次世代に引き継ぎます！

魅力

## 魅力と活気にあふれるまちづくり

「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と思えるような魅力あふれるまちを目指します！



市民

## 市民が主体のまちづくり

市民・行政の信頼関係を構築し、パートナーとして連携しながら市民主体による社会システムの構築を図ります！

宣言1

### 小中学校にエアコンを設置します

児童・生徒が確かな学力を身につけ、充実した学習環境を整えるため、全小中学校にエアコンを設置します。

宣言2

### 保育所の待機児童を「ゼロ」にします

認可保育所の建設に対し、施設整備費や運営費を支援し、定員の拡大を図ります。さらに、家庭的な雰囲気や保育する認定保育ママ制度の導入を目指します。

宣言3

### 保育所の耐震化を進めます

いつ起こるかかわからない大震災に備え、保育園児の安全を確保するため、施設の耐震化を実施します。

宣言4

### 小中学校の大規模改修を行います

教育環境の質の向上を図るため、耐震化工事完了に続き、小中学校の大規模改修工事を実施します。

宣言5

### いじめ防止条例を提案します

命や人を思いやる心の尊さを主に掲げ、市全体でこの問題に取り組むため、いじめ防止条例を制定します。

宣言6

### ふじみ野寺子屋を拡充します

小中学生の学習習慣の定着と学力向上を目指します。公民館で実施してきた『ふじみ野寺子屋』を拡充し各学校で土曜日の授業を復活させます。



宣言7

### 障がい者の日中活動の場を支援します

障がい者が地域で自分らしく生活するための日中活動の場の支援を行います。

宣言8

### 発育・発達支援センターを設置します

心身の発達に遅れや心配のあるお子さんの早期発見と発達支援を目指します。

宣言9

### 「元気・健康都市」を宣言します

良好な環境のもと、心身ともに健康で、一人一人がいきいきと輝き暮らすことを願い、「元気・健康都市」を宣言します。

宣言10

### 地域包括ケアシステムを構築します

高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、地域における保健・医療・介護・福祉の関係機関が連携したサービス提供のシステムをつくりまします。

宣言11

### 減災・防災体制を強固なものにします

引き続き、市内全域を対象に総合防災訓練を実施し、自主防災組織率100%を目指すとともに、自主防災組織の活動支援を行います。



宣言12

### 犯罪「ゼロ」のまちを目指します

犯罪のないまちを目指して、基本理念などを定めた条例を制定し具体的な行動計画を策定します。

宣言13

### 交通事故のないまちを目指します

ゾーン30の整備とともに、実践的技術の習得を目指した高齢者交通安全教室を開催します。

宣言14

### ゲリラ豪雨対策に取り組みます

近年のゲリラ豪雨に対し、貯留浸透槽や遊水池の整備を進めるとともに、各家庭での各戸貯留施設の推進を図ります。

宣言15

### 自然エネルギー活用と3Rを推進します

公共施設を利用した太陽光発電システムの推進を図るとともに、新清掃センターにリサイクル施設を整備し一層の3Rに取り組みまします。

宣言16

### 上福岡駅東口の整備を進めます

駅前市の玄関口であり市の顔でもあります。半世紀の間、整備が進まなかった上福岡駅東口の駅前広場の整備を促進し、市のイメージアップを図ります。

宣言17

### 旧福岡高校の活用に取り組みます

旧福岡高校の活用を起点とした「子育て」「健康」「福祉」等の複合的・一体的な施設、サービスの提供メニューを洗い出し、その事業化に向けて努めます。

宣言18

### ふるさとハローワークを設置します

若年者から高齢者まで幅広い層を対象に、職業相談や、求人情報を提供するため、市役所内にハローワークを設置します。

宣言19

### 文化とスポーツの振興に取り組みます

市民の文化・健康の向上を図り地域社会の発展と豊かな市民生活の形成を目指すため「文化・スポーツ」の振興に係る条例を制定します。

宣言20

### 企業誘致の促進を図ります

頑張る企業を誘致し市税の増収と雇用の確保を図ることにより活気のあるまちをつくりまします。

宣言21

### 行政と民間・市民とのパートナーシップシステムを構築します

施策や各事務事業について、市民にとってどんな方向性が望ましいかという視点に立ち、課題解決や施策創出に向けて市民とともに取り組みまします。

宣言22

### 女性の視点をまちづくりに活かします

柔軟な発想から、おもてなしや配慮のあるまちづくりを進めるため、政策や方針決定の場への参画を進めます。

宣言23

### ファシリティマネジメントを実行します

市の所有資産を重要な経営資源として一元管理し、有効活用を図るため「ムダ・ムリ・ムラ」を無くします。

宣言24

### 合併特例債を有効活用します

法律改正により一定の手続きのもと、合併特例債の適用期限が延長されたことにより今後、県と協議を進めながら有効な財源活用を図ります。

宣言25

### 今後も市民のみなさんとの対話を重視します

これまで、3千人を超える市民のみなさんと直接対話を行いました。今後もみなさんの声を市政に活かすため、タウンミーティングやふれあい座談会を実施していきます。

